

解 答 速 報



医学部受験予備校

藤田医科大学 一般選抜後期

英語

医特

第1問

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
(4)	(2)	(3)	(2)	(2)	(3)	(1)	(3)

第2問

問1	問2	問3	問4
(2)・(1)	(7)・(6)	(6)・(7)	(6)・(1)

問1 Five traffic accidents have happened in as many days.

問2 India owes what it has become to its economic growth.

問3 It is common for customs taken for granted by Japanese people to be unusual ones for foreign tourists.

問4 The last thing I want to do is repeat a year.

第3問

問1	問2	問3
(4)	(2)	(3)

第4問

問1	問2	問3
(1)	(1)	(2)

第5問

問1	恐怖や不安から自分の家を捨てて出ていかなければならなくなった人が多数いることに加え、いくつかの地域では海岸線が上昇したことでワニやカバに襲われた住人も出てきており、命を失う危険性も生じている。
問2	気候変動により雨降りが多くなるという予測モデルの通りに、雨の多い年に高地での降雨が多くなって河川から流れ込んでくる湖の水量が増え、さらに、低温と雨降りが続いたことで、河川や湖の水量を減らす主な手段であったはずの蒸発散量が減ったということ。
問3	気候変動がグレート・リフト・バレー周辺の湖の洪水を引き起こしているのだとしても、ケニアが地球温暖化に大きく寄与しているわけではないため、損害賠償責任がケニア政府にはないということ。
問4	グレート・リフト・バレー周辺の湖の洪水によって警察署や学校などといった郡政府の複数の施設が飲み込まれているし、観光業からの歳入も減っていることから、郡政府自体も被害を受けているということ。
問5	【 え 】

第 6 問

(1)	By further studying what the bridge of gas that link the two galaxies is like, we will be able to get some new clues to understanding the evolution of the two galaxies. [別解] Studying what the bridge of gas that link the two galaxies is like holds [will give us] some new clues to understanding how the two galaxies have evolved. [別解] Further research on what the bridge of gas linking the two galaxies is like will enable us to get some new clues to [will pave the way for] the understanding of the two galaxies' evolutionary processes. [原文] Studying what may be a gaseous link between the two can give us a new key to understanding the evolution of both galaxies.
(2)	Through the observation from the supersensitive Green Bank Telescope [By the aid of the supersensitive Green Bank Telescope / By using the supersensitive Green Bank Telescope], the researchers not only proved that the gaseous bridge does exist [not only confirmed the existence of the gaseous bridge], but also discovered six gaseous clusters inside it. [別解] The observation from the supersensitive Green Bank Telescope led not only to the confirmation of the existence of the gaseous bridge but also to the discovery of six gaseous clusters inside it. [別解] The supersensitive Green Bank Telescope enabled the researchers to confirm that the gaseous bridge does exist and, in addition, [,besides that,] to discover six gaseous clusters inside the bridge. [原文] Detailed studies with the highly-sensitive GBT confirmed the existence of the bridge, and showed six dense clumps of gas in the stream.
(3)	the [its] radio (wave) emission is very weak, so the gas is beyond the observation range of most radio telescopes. [別解] the radio emission from the gas is so weak that the gas cannot be observed by almost all ordinary radio telescopes. [原文] its radio emission is extremely faint — so faint that it is beyond the reach of most radio telescopes,

～講評～

第 1 問：文法・語法・語句の 4 択問題。例年は、受験生には厳しいレベルの知識を問うこともあったが、今年の問題ではそのような問題の出題がなく、かなり取り組みやすくなった。最小の失点で切り抜きたい。

第 2 問：例年通り整序問題 4 題。この大問でも、難問・奇問の類いの出題はなく、決して簡単とは言わないが、どれも受験レベルの文法・構文知識で処理できる範囲の出題だったため、連年よりも易化したと言える。問われた知識は以下のとおり。問 1 は「5 日で 5 件の交通事故」を同一の数字による比較対象の省略で表現する five traffic accidents ～ in as many days がポイント。問 2 は owe O₁ O₂ / owe O₂ to O₁ で、O₁ と O₂ の語順を新情報・旧情報の観点から決定することがポイント。問 3 は不定詞の意味上の主語と take A for granted を分詞化して、名 taken for granted by ～「～によって当然視されている名」と表現することがポイント。問 4 は「絶対～したくない」を否定構文 The last thing I want to do is (to) do ～とし、なおかつこのような不定詞が補語として使われる文体では、to を省略して原形不定詞で表現されやすいという知識がポイント。

第 3 問：「一部の遺伝性の ALS の治療に期待が寄せられる新薬」についての英文で、ALS（筋委縮性側索硬化症）患者の Jessica Morris という方の事例を述べた英文だった。本文の内容と各問いの選択肢を正確に読み比べることで、根拠を持って選択肢の絞り込みができたので、確実に取りたい問題である。

第4問：「寄生した昆虫宿主のマインドコントロールをする菌類である冬虫夏草」についての英文だった。こちらも第3問と同様、本文の内容と各問いの選択肢を正確に読み比べることで、根拠を持って選択肢の絞り込みができたので、確実に取りたい問題である。

第5問：「ケニアのグレート・リフト・バレー周辺の湖の洪水が地域に及ぼしている影響に対する政府の賠償責任の有無」について論じた英文。記述問題に関して、問いの文言の中に本文該当箇所を絞り込むヒントがしっかりと書かれており、例年よりやや易しかった印象を受ける。該当箇所の内容を正確な日本語で表現できるかどうかで差が付くだろう。問5の脱段落挿入問題も、the や that が付いた名詞の言い換えに着目すれば答えが見つけやすかった。

第6問：Sci.Newsの2012年6月12日付のネット記事 M31 and M33 May Have Had Close Encounter が出典で、「アンドロメダ銀河(M31)とさんかく座銀河(M33)をつなぐガス状の橋の発見」についての英文であった。例年通り、長文中の3カ所を英作文する問題。本文中に出てくる語句・表現などをヒントに使いながら、名詞の言い換えには冠詞 the などを上手く使いながら、自然な英文を仕上げたい。難易度は例年通りで、直訳ベースで書くことができる問題であったため、英作文問題とはいえ失点を最小限にとどめたい。

マーク式問題のパートで、文法問題の第1問の出題数が例年の6問から8問に増え、長文問題の第3問と第4問で例年の出題数4問から3問に減るという微々たる変化があった。(これは25年度前期からの変化である。)それ以外は、出題傾向・分量ともに例年通りで、難易度は例年と比べてやや易化したと言える。合格には65~70%を目指したい。



メルマガ登録（無料）またはLINE 公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE 友達登録は右のQRコードから行えます。



渋谷校 ☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2	名古屋校 ☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F	大阪校 ☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3 4 江坂第1ビル 3F
個別専門館 麹町校 TEL：050-1809-4751 東京都千代田区二番町 8-20	京都校 TEL：075-746-4985 京都市下京区下諏訪町 360	医学部特訓塾 TEL：03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F